事業所名 グループホーム あかり

令和6年度 第1回 運営推進会議開催報告書

開催日時 令和6年5月17日(金)		
参加 者		議題
利用者	4名	(1) 入居者状況
利用者家族	1名	(2) 活動状況(3月、4月)
市職員	1名	(3) 今後の予定 (5月、6月)
はたやま地域包括支援		(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告
センター職員	2名	(5) 身体拘束の適正化について
みゆきファーマーシー薬剤師	1名	(6) ご意見・要望・提案・助言
事業所	4名	(7) その他
	会	議録録

事業所の特色

あかり理念 「心で通じる共想いケア」

<u>私達は感謝の気持ちと相手を思いやる心で、共想いケアを実践します</u> 認知症の症状をもった入居者様がそれぞれの役割を発揮し共同生活を送ることに よって、安定した生活を送れるように支援することを目的としてます。

一人ひとりの生活リズムに合わせてその人らしさ、また持っている潜在能力を発揮 出来るように努め、共に歩むパートナーとして笑顔あふれる寄り添いのケアを目指し ています。

(1) 入居者状況

4月30日現在8名(男性:2名、女性:6名)

要介護 1:2名 要介護 2:2名 要介護 3:1名

要介護4:3名 要介護5:0名

平均要介護度 2.62 平均年齢 85.3 歳

※1 名要介護 3 男性 4 月 27 日にみどりまち病院へ転院。退居されました。

※1 名要介護 1 女性 5 月 9 日新入居予定です。

(2) 活動状況(3月、4月)

三浦内科クリニック往診3月6日(水)、4月3日(水)

・柊訪問看護ステーション訪問 3月6日(水)、19日(火)、27日(水)

14日(木) (訪問リハビリ)

4月3日(水)、17日(水)、24日(水)

12日(金) (訪問リハビリ)

青木歯科往診3月7日(木)、21日(木)

27日(水)(歯科衛生士)

4月4日(木)、18日(木)

24日(水)(歯科衛生士)

みゆきファーマーシー訪問 毎週1回(居宅療養管理指導…薬セット管理)

週1~2回(希望者にマッサージ治療) • ハート治療院訪問

• 訪問理美容 4月22日(月)

行事

・ひな祭り会(ご家族様と食事 3月3日(日)

会とネイル体験行いました)

3月5日(火)

お誕生日会 1 名 お誕生日会 1 名 3月23日(土)

• 運営推進会議 3月15日(金)

• 花見(八幡神社) 4月10日(水)

(3) 今後の予定(5月、6月)

・5月 端午の節句、お誕生日会

•6月 訪問理美容(マジックショー)、訪問理美容(6月24日)その他

※エコバックについて

・進行中…デイサービスが作っている。なかなか沢山作れない。コンビニに置いたら すぐなくなってしまう。

今後…グループホームも分担して手伝っていくようにする。

(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告

• 苦情 〇件

• 事故 5 件:3 月初句:入浴後脱衣場で椅子に座る際バランスを崩し

転倒。

3月中旬:落薬発見(薬は誰のものか不明)

4月初旬:入浴時、脱衣場まで歩行中、脱衣場の扉で左親指

を挟んだ。

4月初旬 : バイタル測定を忘れて、入浴してしまった。

4 月中旬 トイレまで歩行介助し、便座でズボンを下げて前

かがみになった時、前のめりになり転倒。

・ヒヤリハット 1 件:3 月初旬:服薬介助時、とろみ剤で混ぜた薬入り容器を、ス

タッフが目を話した時、本人が自ら手に取り、飲

んでいた。

(5) 身体拘束の適正化について

- 身体拘束なし
- 身体的拘束適正委員
- 高齢者虐待防止のための介護職のマナー向上 「◎身体拘束についてⅢ」をドリル方式で確認。

(6) ご意見・要望・提案・助言

【感想】

ご家族様より

主人と散歩に行くようになってから排便が出るようになりました。便秘が改善され嬉しい。

入居者様より

- 言いたいことがあっても言えんもーん。
- 「無い」…他の入居者様に「ないか?」の問に応じている。
- 「ご飯は美味しい」「残したこと無い」「みんなおとなしくていい人だから 何も言う事無い」

はたやま地域包括支援センターから(感想)

4月16日に入職し運営推進会議に初めて参加した。イベント、誕生日会もあり、和やかな雰囲気だと思った。

【ご意見】

市職員より

- ・高齢者虐待のドリルについて(研修の件)→どのような形式で実施していますか?用紙は配布していますか?もしくは研修(勉強会)していますか?
 - →今後は、オンラインを活用していく予定。新人スタッフ 2 名入った為、新人研修と認知症基礎研修を兼ねて実施していく予定。今後、研修をどのように行うか検討、計画予定。
- 身体拘束の適正委員会ついて→基準値として必ず行わなければならない。
 - ①身体的拘束適正化の委員会を実施し、運営推進会議で内容報告する。
 - ②もしくは運営推進会議の場で、身体的拘束適正化委員会を兼ねて事例検討会を おこなう→大きく2つに分かれることが多い。
 - 今後はそのように行っていきます。

はたやま地域包括支援センターより

- ひな祭り会でのネイルは体験ボランティアですか?
 - →ボランティアで、お試しでやっている。きれいになれば皆さん喜ばれる。
- 病院受診の付き添いは誰が付き添ってますか?
 - →基本家族対応です。

みゆきファーマーシー(薬剤師)より

- ・ヒヤリの薬の件について→本人以外が飲むことはリスクが高いので気をつけてほほしい。
 - →本人が飲めるからいいだろうと思うのは駄目。目を離したすきに他の方、隣に 座っていた方が手を出し飲んでしまったらいけない。危機管理を確認してい く。

リーダーより

・エコバックは DS と連携し、少しずつ進めていきたい。あかりの方針で「家事活動」はできる所はやって頂く。できない所はサポートし生活していただくことは、継続していきたい。

管理者より

- ・薬の件は模索しながら事故がないように努力している。
- ・理念に基づいて行っていく。
- スタッフがよく頑張っている。先月から中国の技能実習生が入職した。 新人教育で改めて、スタッフー同、一から学んでいきたい。
- 利用者様も会議に参加することはいいことだと思う。「理念」に基づいてできることは何か?本人の意思尊重とは何か?を念頭において考えてケアに務めて行きたい。

(7) その他

介護職員のコロナラビット検査は3月末で終了しました。 検査結果は全員陰性でした。

次回開催予定 令和6年7月17日(水)14:00~